

(国土交通省)地方再生コンパクトシティ・モデル事業「下妻市・ストック効果の促進
及びスポーツ環境デザインとプレイスメイキングによるにぎわいのまちづくり」

スポーツ環境デザイン大学下妻キャンパス

寺虎家-下妻覚醒編



株式会社Waisportsジャパン

Copyright ©2016WaisportsJapan・inc All Rights Reserved

背景

(背景)

下妻市は、2018年3月「地方再生モデル都市」に選定されました。これは、都市のコンパクト化と地域の稼ぐ力の向上に、ハード・ソフト両面から総合的に取り組む地方再生のモデル都市として、選定されたもので、国土交通省と内閣府（地方創生推進事務局）が、国やUR都市機構との連携により、モデル都市の取組を集中的に支援し、目に見える形での都市の再生を目指すものです。主には以下のような都市が選定対象となり全国77都市の応募から32都市が選定されました。

・空き店舗対策、城下町の再生等にハード、ソフト両面から総合的な取組
 ・官民連携のもと、民の力を最大限引きだし、地域の「稼ぐ力」を再生する取組
 持続可能な地域創生（＝税収増加、交流人口増加、元気寿命増進、産業生産性向上等）の実現に向けて、この機会を有効に活用していくことが重要で。

そのためには、**地域が、スポーツの機能を十分に理解し、使いこなしていくことがポイントとなります。** ついては、競技や娯楽価値に留まらない教育、医療、福祉、観光子育て、健康、生活、防災、防犯、予防、住環境等様々な分野を効果・効率的に魅力化し、活性化していくための『スポーツサイエンス』に関する知識を十分に蓄え、これを活かした『地場固有のマネジメント力』を磨いていく必要があります。

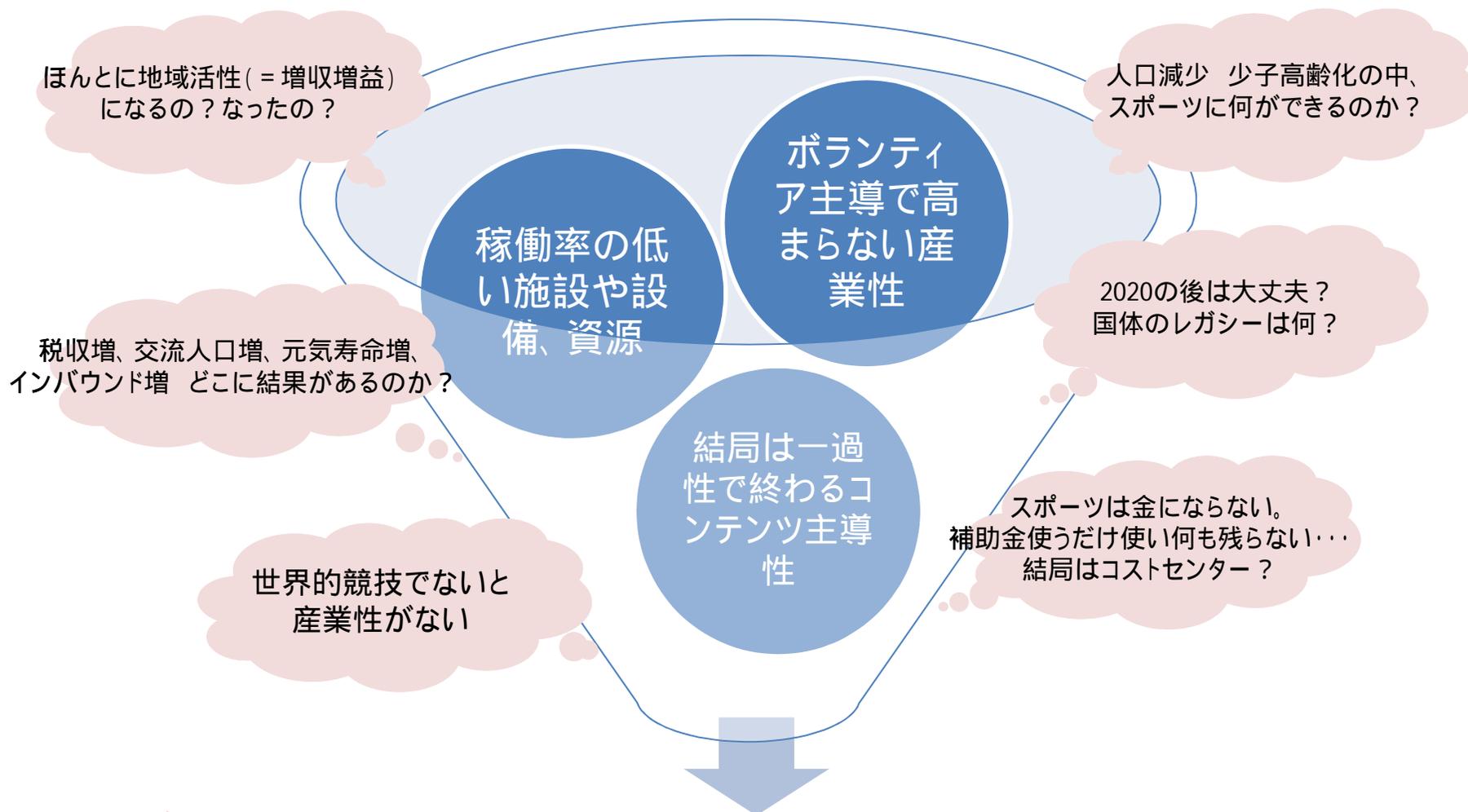
茨城県下妻市

～ストック効果の促進及びスポーツ環境デザインとプレイスメイキングによる

にぎわいのまちづくり～

<p>下妻市概要</p>  <p>市域面積：80.88km² 人口：42,776人 予算規模：159億円 (H29一般会計当初予算) 財政力指数：0.67</p>	<p>事業実施地区</p> <p>地域資源(砂沼の親水空間・既存ストック)を活用し、スポーツ環境デザインとプレイスメイキングによるエリアの魅力向上と交流人口拡大により、にぎわいのまちづくりを加速させる。</p>  <p>タイミング 2019年いよいよ茨城が国体 2020東京オリンピック クライミング・スケートボードは新競技、今後若者を中心に注目を集める見込み</p> <p>■人を呼び込む 観光人口、スポーツ人口 川まちづくり・サイクルネットワーク 学校教育との連携、都市間交通</p> <p>公共性のある事業が官民連携の取組として市民に呼び込み、民間資本が空き店舗・空き家等のストックを活用して消費喚起と地域創生を促す。短期効果によるエリア全体の価値向上を目指す。</p> <p>凡例 ■ 事業実施箇所 ■ ハード事業 ■ 地区範囲 ■ ソフト事業</p>	<p>実施事業</p> <p>主なハード事業</p> <ul style="list-style-type: none"> にぎわい広場『Waiwaiドームしもつま』 スポーツコンテンツ充実のためのクライミング施設整備 観光交流センター『さん歩の駅サン・SUNさぬま』 水辺のリノベーションのための親水デッキ整備 <p>主なソフト事業</p> <ul style="list-style-type: none"> まちなかの回遊性向上はもとより、鬼怒川・小貝川の地域資源、川まちづくりと連携し、人の流れを呼び込むため、コミュニティサイクル「しもんチャリ」を拡充する スポーツを手段として交流人口と消費拡大を狙うスポーツ環境デザイン事業、教育との連携も図り、選ばれる街を目指す。 H28地方創生事業で空き店舗をコミュニティカフェにリノベーション。売上を更なる深化とするため、リノベーションスキルの開拓による機運醸成とプライベートルームを持った民間事業者の発掘 	
<p>地方再生C.C.地区概要</p> <p>面積：3.2km² 当該地区への主な移動方法： 関東鉄道常総線下妻駅 路線バス・コミュニティバス有り</p>	<p>3年間で実施する主な事業</p> <ol style="list-style-type: none"> ①スポーツコンテンツ充実のためのライミング施設等整備 ②水辺のリノベーションのための親水デッキ整備 ③プレイスメイキング事業 ④にぎわい広場クライミング施設等整備 ⑤スポーツ環境デザイン事業 	<p>総事業費：3.0億円 H30年度：1.1億円(内数)</p>	
<p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○エリア内の既存ストック(にぎわい広場、公園、道路、空き地・空き店舗等)を活用し、民間事業者によるスポーツ等を活用した事業、家守事業、市民団体による活動を展開し、賑わい創出・交流人口拡大・エリアの価値向上を図る。(関連事業：①、②、⑦、⑧、⑨) ○砂沼広域公園の親水空間と観光交流センターを活用した水辺のリノベーション、『川まちづくり』との連携も視野に入れたサイクルネットワークにより、回遊性の向上と巡り場形成を図る(関連事業：②、④、⑤、⑦、⑧) 	<p>事業効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○路線値の上昇(従前値)24,500円 → (目標値)25,200円(関連事業：①～③) ○下妻駅の利用者数増加(従前値)604,090人/年 → (目標値)622,000人/年(関連事業：①～③) ○公共施設(観光交流センター、にぎわい広場、図書館)の利用者数(目標値)H29年度比：3%上昇(関連事業：①～③) ○家守事業者数(目標値)1社以上(関連事業：⑨) 	<p>連携体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ環境デザイン事業 筑波大学発ベンチャー・Waisportsジャパンと連携し、プレイスメイキング事業 筑波大学建築学と連携し、街なかの心地よい居場所づくり、パークレットの導入、『川まちづくり』とリンクしたサイクルスポットの整備(関連事業：③) ○リノベーションスクール事業 リノベーションスクールの実施による空き店舗活用の機運醸成と家守事業者発掘(関連事業：③) ○地方創生×コトバシ×ストック活用×スポーツ×教育の取組みを進めるため、『スタッフ窓口』と庁内の業務を横断的に実施する体制を構築(関連事業：①～⑨) 	<p>持続可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○定期的なイベント開催や、スポーツパークバーの常設化、ストリートスポーツの利用拡大により交流人口を確保し、エリアの価値の向上につなげる。(関連事業：①、⑥、⑦、⑧、⑨) ○スポーツを活用した各種育成プログラム、まちづくり市民グループの活動、リノベーションスクールを通して、パブリックマインドを持つ民間人や企業を発掘、育成する(関連事業：⑥、⑦、⑧、⑨) ○スポーツ事業の収益による管理費への充当やコンテンツへの再投資(関連事業：①⑥⑦)

着目する問題



スポーツを活用しても……
一向に地域に新しいビジネスモデルやマネジメントが創造されない

課題

「スポーツ」に生産性が無いわけではない、「スポーツ」の使い方に生産性が無いだけ・・・

「スポーツ」を使いこなす力の習得！

目的と取組

(目的) 『スポーツ』の使い方の生産性を高め、地方創生の効果的促進

まち、ひと、場を魅力化するスポーツサイエンスとそのマネジメントについてのリテラシー向上と共通言語の形成。これを通じて地元資源の発掘・育成とエリアの実活性にむけた市民・県民の魂の覚醒を目指す。

(目標) 地域価値を高める新たな挑戦的取り組みの創出

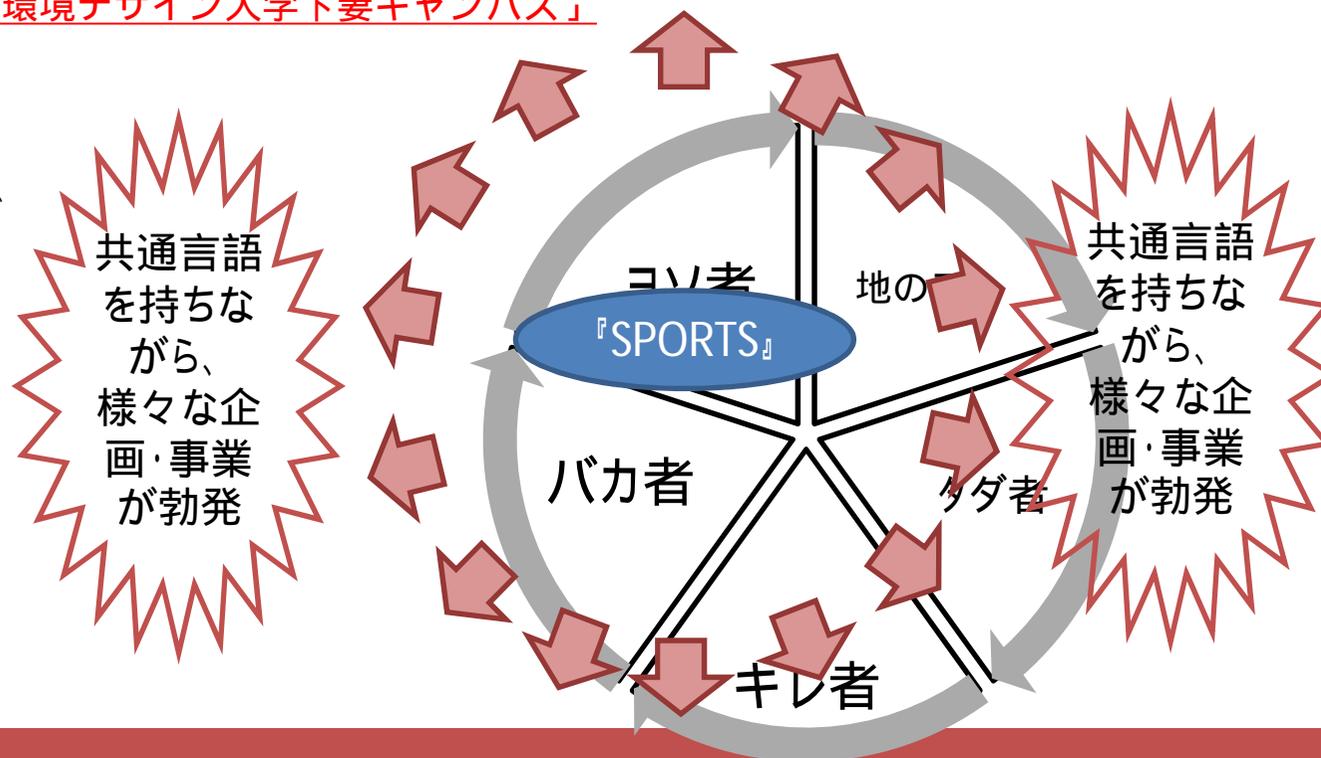
「スポーツ」の使い方の会得、及び新しいマインドセット、ナレッジ、ネットワーク、コミュニティを獲得し、既存の資源を有効活用した新しい取り組みを生み出していくこと。

(取組) 刺激的な勉強会兼企画会の連続シリーズ

夜な夜な、ヨソ者、バカ者、タダ者、キレ者が集まり、地のモノと『地域活性』と「スポーツ」について、様々な専門家や実践者との対話を講義、演習、実習形式で行う。

概念は「スポーツ環境デザイン大学下妻キャンパス」

「地のモノ」
人の生活を豊かにする5
大資本。社会関係資本、
人的資本、自然資本、人
口資本、人工資本。例えば、
下妻市の人工資本は、砂
沼サンビーチ、WaiWai
ドームや空き家等。
「ヨソモノ」
主には、市外で活動する
元気サービス産業人たち
のことを指す。



スポーツ環境デザインという考え方

「**スポーツの機能価値**」を利活用し、
「**スポーツ環境の魅力化**」と「**職・住・遊・学環境の魅力化**」を
相互作用的、一体的にデザイン・マネジメントしていくことで、
人・コミュニティ^{*1}・場の持続的活性化^{*2}を志向していく**概念と手法**。

*1 人的資本, 社会関係資本

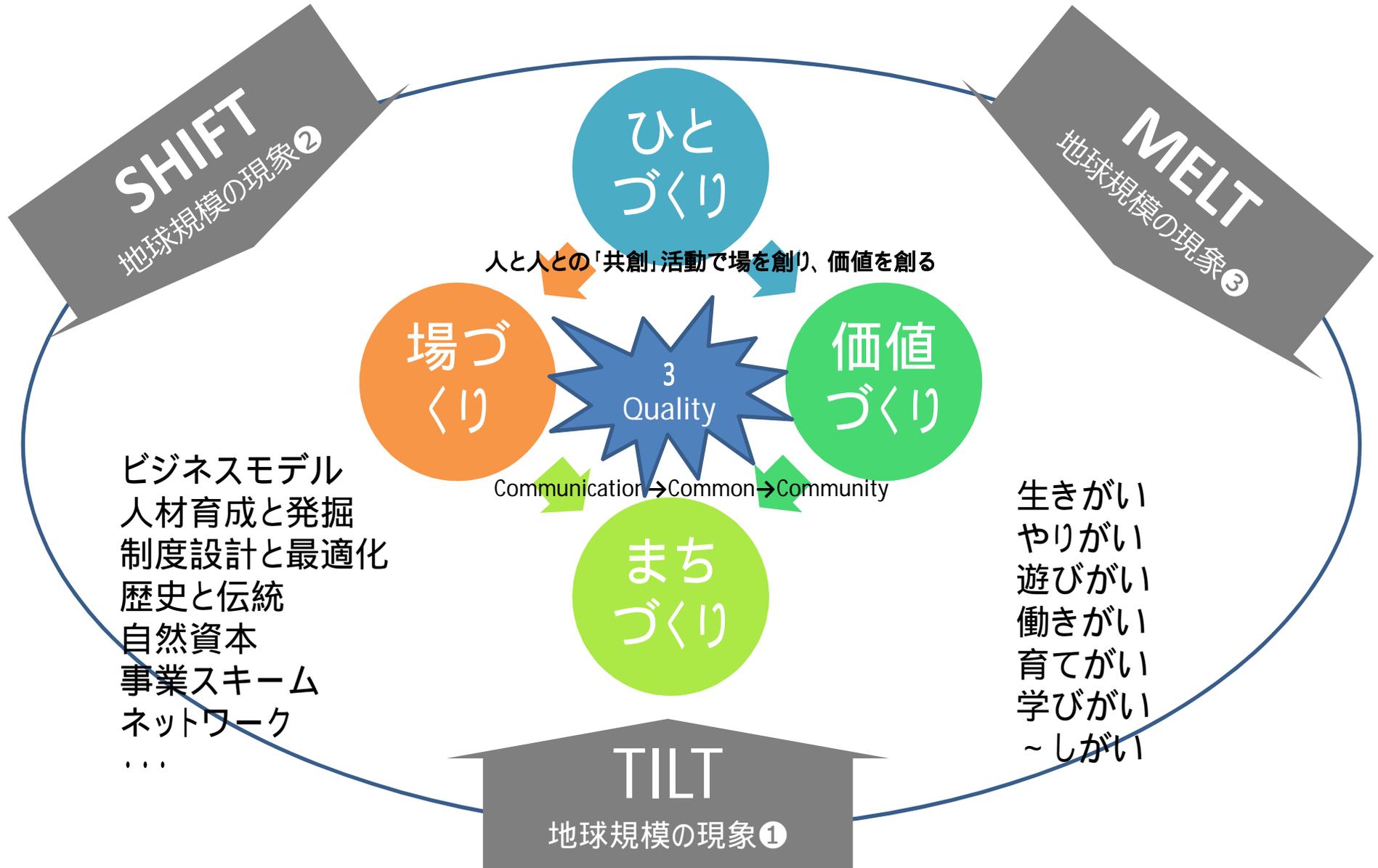
*2 雇用, 市場, 事業, 人材の発掘と育成



**人のQOLを「人の消費」ではなく、
「人の動き」(主体性)で高めていく環境づくり**

「人」が単なる消費者としての**動産**となり下がっている現状の中で、「起動」「移動」「運動」「流動」「感動」「胎動」などを担う、新たな「人の文化的動産化」を目指す。

寺虎家のフレームワーク



カリキュラム概要

設置目的

実際にコトを小さくでも起こし、「経験」を積むこと

受講は自由、演習に参加していること、実習との連続受講であることを前提条件とする。

演習で受講者内から上がった企画や予め用意された企画について検討・検証しながら、実施可能なものを選定し、企画、構想、実践する。

設置目的

新しいマインドセット、ナレッジ、ネットワーク、コミュニティの獲得

受講は自由 来たい時に来る！OK

【導入講座】

スポーツ環境デザインの基本的な考え方

【基本講座】

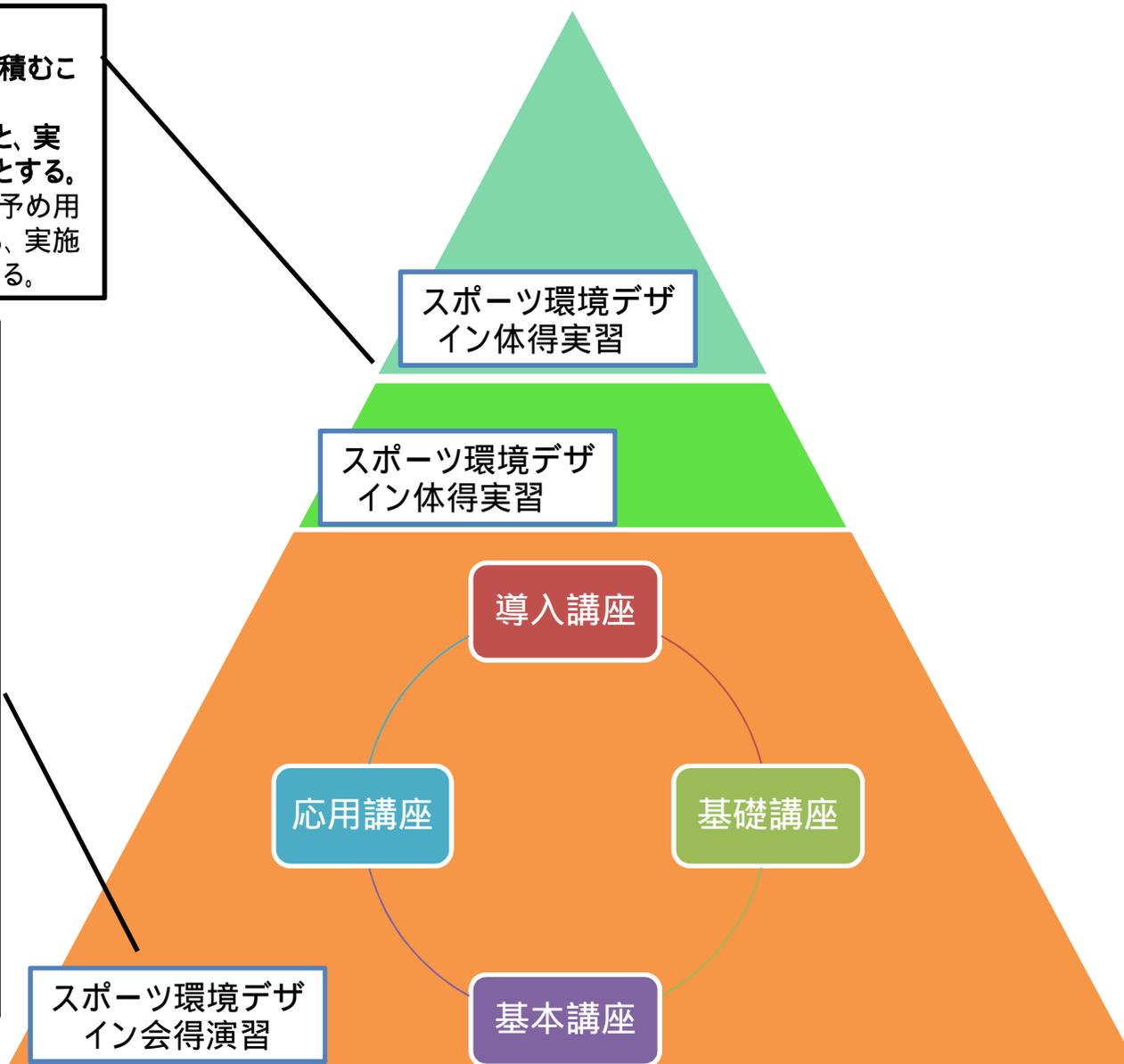
人づくり、まちづくり、場づくり、価値づくり
× スポーツサイエンス

【基礎講座】ケーススタディ

「スポーツ」を手段とし、どんな価値づくりが展開できるのか？実際に一定のエリアにインパクトあるBefore Afterを創り出した或いは創り出すことに挑戦する事例に触れる。

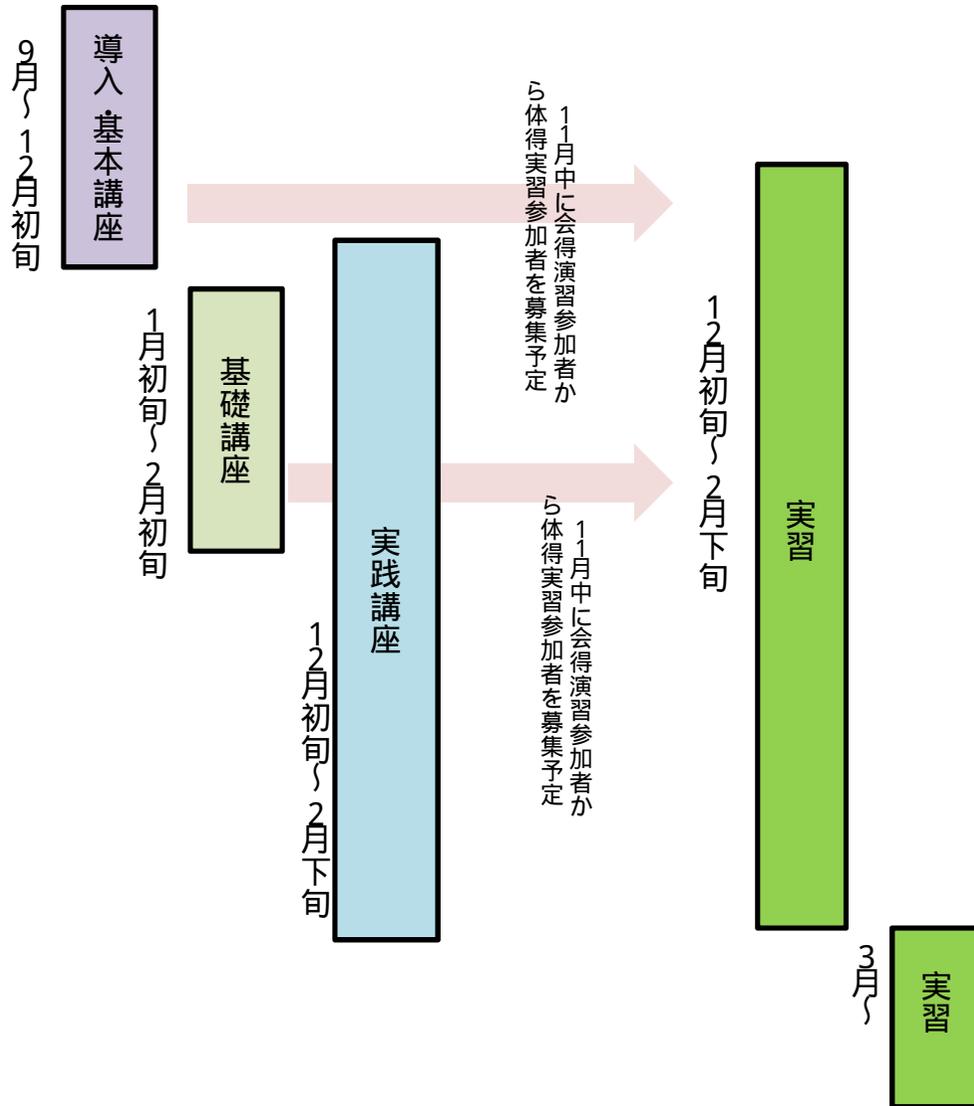
【応用講座】企画構想

「スポーツ」を手段とし、どんな価値づくりが展開できるのか？毎回異なるコンテンツをテーマに、実際に地元転用を想定し、企画構想を試みる。



カリキュラム概要

スポーツ環境デザイン会得演習



スポーツ環境デザイン体得実習

→ 会得演習の導入～実践講座ラインナップ

日付	講師	講座種別
9/25	松田裕雄	導入
10/23	松田裕雄	導入
11/1	蓮見孝	基本
11/6	渡和由	基本
11/15	岩本悠	基本
11/27	安藤文豪	基本
12/4	小俣よしのぶ	実践
12/6	佐藤拓	実践
12/11	甲斐徹郎	基本
12/18	田部井進也	実践
12/21	鈴木岳	実践
1/9	河野博明	基礎
1/18	岡崎正信	基礎
1/22	中村考昭	基礎
1/31	秋山仁雄	基礎
2/7	山谷拓司	実践
2/14	熊坂克哉	実践

スポーツ環境デザイン会得演習

概要

導入講座

「スポーツ」と「地域活性」

基本講座

「スポーツ」の可能性
と
場づくり×価値づくり

「スポーツ」の可能性
と
ひとづくり×価値づくり

「スポーツ」の可能性
と
価値づくり

「スポーツ」の可能性
と
まちづくり×価値づくり

基礎講座

ひとづくり
場づくり
まちづくり



価値づくり



「スポーツ」

応用講座

導入講座と基本講座

日付	氏名	所属	科目	テーマ(仮)
9/25	松田裕雄	筑波大学体育系 株式会社 Waisportsジャパン代表取締役	オリエンテーション 導入講座	地域活性とスポーツ
日付	氏名	所属	科目	テーマ(仮)
10/23	松田裕雄	筑波大学体育系 株式会社 Waisportsジャパン代表取締役	導入講座	地域活性とスポーツ
11/1	蓮見孝	筑波大学名誉教授・前札幌市立大 学学長	基盤講座 まちづくり	自律力を生み出すまちづくり
11/6	渡和由	筑波大学芸術系准教授	基盤講座 場づくり	主体性を引き出す場づくり
11/15	岩本悠	島根県教育魅力化特命官・一般財 団法人地域・教育魅力化プラット フォーム共同代表	基盤講座 人づくり	主体性を育む人づくり
11/27	安藤文豪	株式会社バルニバービ・常務取締 役COO 株式会社パティスリードパラディ・ 取締役 株式会社アスリート食堂・取締役	基礎講座 場づくり× 価値づくり	主体性を引き出す食場
12/11	甲斐徹郎	建築・まちづくりプロデューサー 関東学院大学客員教授 株式会社チームネット代表取締役	基礎講座 場づくり× 価値づくり	主体性を受け止める住場

基礎講座

日付	氏名	所属	テーマ(仮)	主な活動実績
1/9	河野博明	株式会社野沢温泉 初代 代表取締役社長	スポーツを活用した地方創 生マネジメント	人口3000人の村営スキー場(借金19億 円)を民営化し、1年足らずで毎年4億を超 える黒字化とインバウンド成長を実現。事 業構築から村の教育制度の改革、村民の マインドセットを変えることまで一体化で手 掛けてきた。
1/18	岡崎正信	オガールプラザ株式会社代 表取締役 オガールベース株式会社代 表取締役	スポーツを活用した地方創 生マネジメント	人口3万人弱の紫波町の交流人口を80 万人に押し上げるに至るストーリーと駅 前整備を断行(庁舎・産直・医療・宿泊・住 宅・スポーツ施設・広場一体型の再開 発)
1/22	中村考昭	ゼビオホールディングス株 式会社副社長・クロスス ポーツマーケティング株式 会社代表取締役社長	スポーツ を活用した地方創生マネジ メント	
1/31	秋山仁雄 他佐野市職員・クリ ケット協会事務局長	「クリケットタウン佐野」創造 プロジェクト 地域価値創造 マネージャー・Localeyes合 同会社代表社員	スポーツを活用した地方創 生マネジメント	
2/5	早野忠明	(一財)東京マラソン財団事 業局長、東京マラソン・レー ズディレクター	* 当日発表 *	

実践講座

日付	氏名	所属	テーマ(仮)	主な活動実績
12/4	小俣よしのぶ	(株)いわきスポーツクラブ いわきFCアカデミーアドバイザー		
12/6	佐藤拓	株式会社北海道日本ハム ファイターズ事業統轄本部 コミュニティリレーション部 兼 事業企画部 部長		
12/18	田部井進也	株式会社タベイプランニング 代表取締役		
12/21	鈴木岳	株式会社R-body project代表 取締役		
2/7	山谷拓志	株式会社茨城ロボッツ・ス ポーツエンターテインメント代 表取締役社長		
2/14	熊坂克哉	株式会社ルネサンス 健康ソ リューション部 部長		

日程と会場のご案内

会場

下妻市役所第二庁舎3階大会議室
下妻市本城町2 - 22
:0296 - 45 - 8128 (都市整備課)

会場

下妻市立図書館2階 映像ホール
下妻市砂沼新田35 - 1
:0296 - 43 - 8811

問合先

下妻市都市整備課 都市計画係
:0296 - 45 - 8128
toshikeikaku@city.shimotsuma.lg.jp

日付	時間	講師	講座種別	会場
9/25	19:00 ~ 21:00	松田裕雄	導入	
10/23	19:00 ~ 21:00	松田裕雄	導入	
11/1	18:30 ~ 21:00	蓮見孝	基本	
11/6	18:30 ~ 21:00	渡和由	基本	
11/15	18:30 ~ 21:00	岩本悠	基本	
11/27	18:30 ~ 21:00	安藤文豪	基本	
12/4	18:30 ~ 21:00	小俣よしのぶ	実践	
12/6	18:30 ~ 21:00	佐藤拓	実践	
12/11	18:30 ~ 21:00	甲斐徹郎	基本	
12/18	18:30 ~ 21:00	田部井進也	実践	
12/21	18:30 ~ 21:00	鈴木岳	実践	
1/9	18:30 ~ 21:00	河野博明	基礎	
1/18	18:30 ~ 21:00	岡崎正信	基礎	
1/22	18:30 ~ 21:00	中村考昭	基礎	予定
1/31	18:30 ~ 21:00	秋山仁雄	基礎	予定
2/7	18:30 ~ 21:00	山谷拓志	実践	
2/14	18:30 ~ 21:00	熊坂克哉	実践	予定